

「家庭ごみ減量化施策についての意見交換会」の結果

本市のごみ処理の現状や課題、家庭ごみ減量化に向けた今後の施策のあり方などについて、市民の皆さまとの意見交換会を実施しました。

1. 開催日程

	日 時	会 場
第1回	令和4年11月8日(火) 19:00~20:30	富山市民プラザ
第2回	令和4年11月11日(金) 19:00~20:30	富山市職業訓練センター
第3回	令和4年11月16日(水) 19:00~20:30	呉羽会館
第4回	令和4年11月18日(金) 19:00~20:30	富南会館
第5回	令和4年11月19日(土) 10:00~11:30	岩瀬カナル会館
第6回	令和4年11月25日(金) 19:00~20:30	大沢野生涯学習センター
第7回	令和4年11月26日(土) 10:00~11:30	八尾コミュニティセンター
第8回	令和5年1月17日(火) 19:00~20:30	細入公民館
第9回	令和5年1月18日(水) 19:00~20:30	山田公民館
第10回	令和5年1月19日(木) 19:00~20:30	大山地域市民センター
第11回	令和5年1月21日(土) 10:00~11:30	水橋ふれあい会館
第12回	令和5年1月21日(土) 14:00~15:30	四方公民館
第13回	令和5年1月22日(日) 10:00~11:30	富山県総合情報センター
第14回	令和5年1月22日(日) 14:00~15:30	速星公民館

2. 参加人数 144名



(写真：富南会館)



(写真：速星公民館)

3. 主なご意見と本市の考え方

① ごみ処理の現状について（排出量・処理経費・ごみ組成等）

No.	質問・意見等	本市の考え方
1	令和3年度のごみ排出量は153,000tだが、 今後は人口減により右肩下がりという予想を しているのか。	ごみの排出量は、人口減少に伴って 少なくなる傾向にあると考えておりま すが、市民1人1日当たりに換算した 排出量は、横ばいの状況が続いており ます。
2	公園や街路樹から発生する剪定枝等は、家庭 ごみに含まれているのか。	公園や街路樹から発生する剪定枝や 落ち葉は、それぞれの担当部署で収 集・処理しており「家庭ごみ」ではな く「事業系ごみ」として取扱われてい ます。
3	事業系ごみも民間の処理施設へ搬入されてい るのか。	事業系一般廃棄物は家庭系一般廃棄 物と異なるルートで収集運搬されてお りますが、どちらも広域圏クリーンセ ンターに持ち込まれて中間処理してい ます。なお、工場等から出る産業廃棄 物はクリーンセンターには持ち込まれ ておりません。
4	富山市のごみ排出量が全国平均を上回ってい る要因について、何か分析はされているのか。	本市は、世帯人員、共働き世帯、持 ち家率、敷地面積等が全国的にみて上 位に位置しています。スーパーで総菜 を購入する機会が多いと考えられるこ とや、物を置いておける場所が広いこ と、庭の剪定枝が多いことなども含め て、ごみの排出量に複合的に影響して いるのではないかと推測しておりま す。

② これまでのごみ減量化の取組みについて

No.	質問・意見等	本市の考え方
1	<p>生ごみの減量やリサイクルに対する市の取組みは、すべて途中半端だ。補助金だけではだめで、継続してやっていかなければいけない。</p>	<p>過去に実施していた「生ごみ処理機購入補助」については、臭いの問題から機器の設置場所が限られることや、堆肥化するための管理が難しいこと等の理由により補助申請が減少したことから、事業を廃止した経緯があります。</p> <p>継続的な循環が成り立つリサイクルの手法等について、先進地の事例等を参考にしながら調査を進めるとともに、発生抑制に向けた啓発等に取り組んでまいりたいと考えております。</p>
2	<p>市全体で見ると、相当の水を燃やしている気がする。水きりを徹底的に各家庭に依頼すれば、燃料費の削減にならないか。</p>	<p>家庭ごみの約3割は生ごみであり、台所ごみの水きりの徹底や食品ロスを削減することで、ごみの減量化に加え、収集運搬や焼却処理の際の燃料費の削減につながるものと考えています。</p> <p>本年6月には、「食べきり・水きりPRポスター」を作成し、大型スーパーや、市内公共施設、小学校、保育所等に配付し啓発するとともに、公共施設や公共交通機関に設置してあるデジタルサイネージ等を活用し周知しているところですが、今後も、効果的な周知・啓発に努めてまいりたいと考えております。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・市はもっと、普段からごみ減量の周知活動を進めておくべき。有料化についても、出来ることをやってからの話ではないか。 ・保育所や小学校の時から3R推進スクールや副読本の配布等、積極的な環境教育を実施することは大変有意義なことだと思う。 	<p>ごみを減らすには、一人ひとりの意識が重要と考えております。普段の行動から意識を変えられるよう、エシカル消費の推進など、さらに効果的な啓発に力を入れて取り組みたいと考えております。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・捨てられたごみの中に、資源物が約30%も残っていることをもっと周知すべき。 ・市民はすでに、ある程度の分別をしていると思っている。 	<p>燃やせるごみの中には、まだ資源物が約32%残されております。平成28年度実績の約34%と比較して分別排出は緩やかに進んではおりますが、まだまだ分別の余地があることから、更なる周知・啓発の強化に努めてまいりたいと考えております。</p>

③ ごみ減量化目標について

No.	質問・意見等	本市の考え方
1	<p>国の目標 440 グラムという考え方について</p>	<p>本市では、平成 29 年に策定した「第 2 次富山市一般廃棄物処理基本計画」において、過去 10 年間のごみ減量化の推移を参考に、令和 8 年度に 514 g まで削減する目標を設定しています。</p> <p>一方で、平成 30 年に策定された国の「第 4 次循環型社会形成推進基本計画」では、令和 7 年度までに 1 人 1 日当たりの家庭ごみの排出量を 440 g まで削減するという目標が示されています。</p> <p>家庭ごみ排出量が全国平均を上回る状況が続いている本市としては、国の掲げる高い目標を達成すべきとの考えから、本市が「目指すべき目標」として、更なる分別排出の徹底と発生抑制に重点を置いた施策を推進してまいりたいと考えております。</p>
2	<p>令和 3 年度の 1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量は 566 グラムとなっており、これを令和 8 年度までに 514 グラムまでに減らすための方策として、ごみの有料化を 3 番目に検討するということは、有料化を前提にした計画にしているということか。</p>	<p>令和 4 年 3 月に策定した「第 2 次一般廃棄物処理基本計画」の後期基本計画におけるごみ排出量の目標数値は、家庭ごみ有料化の導入を前提としたものではありません。</p> <p>有料化については、ごみの減量化・資源化の進捗状況を踏まえながら、他のごみ減量化施策と併せて検討を進めることとしております。</p>
3	<p>富山市は令和 8 年度に 1 人 1 日当たりのごみ排出量を 514 グラムという目標を掲げているが、ここ数年の現状ではあまり減っていない。目標を達成するために、具体的にどのような施策に取り組むのか。有料化を導入して達成という話は問題外だと思う。</p>	<p>さらなる分別排出の徹底に加え、ごみの発生抑制に重点をおいた啓発等の取り組みを強化するとともに、プラスチック資源一括回収については、実証事業を検証のうえ、なるべく早期に導入したいと考えております。</p> <p>有料化については、ごみの減量化・資源化の進捗状況を踏まえながら、他のごみ減量化施策と併せて検討を進めることとしております。</p>

④ 強化する取組みについて（取組1 ごみの分別排出の徹底と発生抑制の促進）

No.	質問・意見等	本市の考え方
1	<p>町内には、ダンボールをそのまま「燃やせるごみ」の日に出している人がいる。</p> <p>市民の意識が大事であり、そのためには環境教育の充実が必要である。例えば、小・中・高校や大人も含めた市民参加型の取組みを積極的に行って欲しい。</p>	<p>分別の徹底や排出抑制によるごみの減量化には、一人一人の意識が非常に重要と考えています。</p> <p>市では、広報や出前講座等による啓発のほか、小学生・園児を対象とした「3R推進スクール」や、小学4年生を対象にした副読本の配布等、環境教育にも継続的に取り組んでいるところですが、今後は更に積極的な周知・啓発活動に取り組んでまいりたいと考えております。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県は共働きも多く、スーパーで総菜を購入することが多いが、使われているトレイは「ごみ」を買っているようなものである。どれだけ個人で意識を高めても、販売者の意識もそれに伴わなければ、ごみは減らないと思う。 ・ごみの有料化は住民にばかり負担を強いるもの。市として、企業やメーカー側へのごみ減量に対する指導はしないのか。 	<p>家庭ごみの減量化を推進するためには、消費者への啓発だけではなく、「量り売り」、「小分け」等の販売方法の工夫や、過剰包装の抑制等も、有効な取り組みであると考えております。</p> <p>市としては、団体等を通じて業界に対し要望を行うとともに、スーパー等に対しては、広域的に取り組んでいただけるよう、要望してまいりたいと考えております。</p>
3	<p>分別を促進するには、分別が簡単になることが大切だと思っているが、市が作成する「ごみの分け方・出し方」は分かりにくい。</p> <p>ごみの出し方をもっとシンプルにし、子どもでもお年寄りでも目の見えない方にも分かるようにもっと改善してほしい。</p>	<p>「ごみの分け方・出し方」については、分かりやすいことが非常に重要であると考えております。</p> <p>皆様からいただいたご意見や要望をもとに、更に分かりやすいものに改善してまいりたいと考えております。</p>
4	<p>生活スタイルが異なる外国人には、そもそも、ごみを分別して排出することや決められた日時にごみを出すという概念がない。</p>	<p>外国の方が転入手続きをされる際には、市民課窓口で「ごみの分け方・出し方（6か国語対応）」を、個々に配布しています。</p> <p>また、外国の方が多く就労する事業所の中には、ごみの分別排出を啓発する「出前講座」を積極的に利用いただいているところもあります。</p> <p>外国の方にも、分かりやすく分別排出方法をお伝えできるよう、引き続き努めてまいりたいと考えております。</p>
5	<p>プラスチック類や紙類が、「燃やせるごみ」なのか「資源物」なのか判断が難しい。市民が悩まないように、分別基準をもっとわかりやすく啓発し、市民に対しても減量実績等をもっと明確に伝えていくべき。</p>	<p>市民の皆様には、これまでも出前講座等を通じて周知・啓発を行っているところですが、さらに具体的で分かりやすい内容になるよう取り組んでまいりたいと考えております。</p>

⑤ 強化する取組みについて（取組2 プラスチック資源一括回収の実施）

No.	質問・意見等	本市の考え方
1	プラスチック資源一括回収の実証事業を婦中地域で実施しているが、その結果と成果を検証し、地域にフィードバックしてほしい。	<p>実証事業の結果や検証等成果については、令和5年3月中に国に報告する予定としています。</p> <p>市民の皆様には、市ホームページ等でご報告させていただきます。</p>
2	婦中地域での実証事業にあたり、地域の回覧板では、ごみ集積場でしか対象資源物を受け入れできないと書いてあったが、資源物ステーションでも受け入れすればよいのではないのか。	<p>今回は国の実証事業として地域の集積場に限定した取り組みであることから、資源物ステーションでの受け入れはしておりません。</p>
3	プラスチック類は燃やせるごみの約20%を占めているということで、実証事業を踏まえ、プラスチック資源一括回収はいち早く導入した方が良くと思う。	<p>プラスチック資源の一括回収は、ごみ減量効果が大きいものと期待しております。</p> <p>今回の実証事業で、効果や課題等の検証を行ったうえで、将来的には市全域での導入を目指したいと考えております。</p>
4	「プラスチックは資源物」とただ書いてあっても分からない。どの程度までの汚れであれば資源ごみになるのか分からない。	<p>軽く水洗いして汚れがとれるものは資源物、汚れがとれないものは燃やせるごみとして排出いただくようお願いしております。</p> <p>資源物の分別方法については、分かりやすい事例等も含めて、効果的な周知・啓発ができるような工夫に努めてまいりたいと考えております。</p>
5	分別されたプラスチックについては、例えば、「これだけの量が回収されている」とか「こういう工程でリサイクルされている」ということが分かれば、もっと減量しようというモチベーションのアップにもなると思う。	<p>プラスチック製容器包装は、再商品化施設への搬入後、選別・洗浄を行い、プラスチックの原材料としてフレーク状や粒状に加工されるほか、プランターや物流パレット等にも成型され再利用されており、これらの工程も含め、リサイクルの状況について、市民の皆様にご紹介してまいりたいと考えております。</p>
6	プラスチック資源一括回収は、婦中地域だけで実施して、他地域では導入しないのか。	<p>婦中地域の取組みは、昨年11月に国の実証事業として行ったものであり、効果や課題について検証を行ったうえで、早期に市内全域で導入したいと考えております。</p>
7	プラスチック資源の一括回収を導入すれば、燃やせるごみが減るという認識で良いか。燃やせるごみを減らすための施策なのか。	<p>現在、プラスチック資源は「プラスチック製容器包装」に限定して分別回収しています。一括回収は、バケツやハンガー等のプラスチック製品も資源化するため、燃やせるごみの減量化にも繋がる施策と考えております。</p>

⑥ 強化する取組みについて（取組3 家庭ごみ有料化の導入検討）

No.	質問・意見等	本市の考え方
1	<p>有料化で期待される効果で、「公平性が確保できる」とあるが、排出量に応じた手数料について説明してほしい。</p>	<p>環境省の「一般廃棄物処理有料化の手引き」によれば、現在は、ごみの排出量が多い方と少ない方では明確な費用負担の差はありませんが、有料化した場合には、ごみ排出量に応じた手数料を負担していただくことになることから、費用負担の公平性が確保できるとされています。</p>
2	<p>有料化になると、これまでは認められていたスーパーのレジ袋も全く使えなくなるのか。</p>	<p>例えば、指定ごみ袋で有料化を実施する場合には、決まった袋でしか出せなくなることとなります。</p>
3	<p>庭の剪定枝は有料化の対象か。</p>	<p>有料化を実施している市では、資源物やボランティア清掃ごみ、剪定枝・落葉等は無料としている事例が多い状況になっています。 何を有料化の対象とするかは、本市の実情を踏まえて検討する必要があると考えております。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞報道に「家庭ごみの有料化を検討している。」「有料化する場合は、2023年度後半以降を見込んでいる。」とあった。これを実行するために、その根回しをするための意見交換会のような感じがする。 ・いろいろと有料化の内容を検討していることは分かったが、結局いつから始まるのか。 	<p>有料化は減量効果が高いものと認識していますが、新たな費用負担をお願いすることになりますので、導入にあたっては慎重に検討を進めていく必要があるものと考えております。 今回の意見交換会では、市のごみの減量化施策に対する考え方を説明し、様々なご意見をいただく機会と捉えております。 現在のところ、有料化の導入時期については、申し上げる状況ではありません。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・有料化により、不適正排出や不法投棄されたごみは誰が処理するのか。 ・不燃物も有料化にすると、お金を出すくらいなら、川や山に行って捨てる人という人が絶対に出てくるので、環境破壊になるのではないか。 	<p>不適正に集積場に排出されたごみや、不法に投棄されたごみの処理については、法律において、原則、排出者の責任とされていますが、排出者が特定できない場合は、その土地の所有者や集積場を管理している町内会において対応していただいております。 不適正排出や不法投棄については、有料化の導入の有無にかかわらず、未然防止対策が重要と考えており、適正な排出を促す啓発の強化やパトロールを実施しながら、本市の実情に適した対応策について、引き続き検討してまいります。</p>

No.	質問・意見 等	本市の考え方
6	<p>ごみ減量化にむけ強化すべき3つの取組のうち、取組1「啓発強化」、取組2「プラスチック資源一括回収」は市民にPRしてほしいが、取組3「有料化の検討」は必ずしもやらなければならないという必然性を感じない。</p>	<p>有料化については、ごみ減量化の有効な施策と認識しておりますが、その導入については、市民の皆様への負担をお願いすることとなることから、慎重に議論を進めていく必要があるものと考えております。</p> <p>まずは分別排出等の啓発の強化やプラスチック資源一括回収等を推進することとし、有料化については、スケジュール等も含め、これら減量化施策の一つとして、併せて検討してまいりたいと考えております。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみ有料化導入という重要な検討というのは、実態を住民に丁寧に説明した上で提起すべき。 ・家庭ごみ有料化は、隣の射水市などではすでに導入されており、富山市もいつかは検討しなければならないが、慌てずに取り組んでほしい。もう少し家庭のごみを扱っている主婦層に説明しないと前に進まないのでは。 	<p>今後、必要に応じて意見交換等の機会を設けてまいりたいと考えております。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・有料化を導入している都市では、ごみ減量に対する市民の意識が、富山市と比較してかなり高いと感じる。 ・有料化を導入している都市では、専用ごみ袋でしか排出できないことを考えると、富山市のごみ出しはかなり緩い。 	<p>市民の皆様には、日頃からごみの減量にご協力をいただいているところですが、更なる意識の向上を図ってまいりたいと考えております。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・有料化を導入する場合には、良い面ばかりを見るのではなく悪い面も十分に調査を進めてほしい。 ・人の目が届きにくい中山間地域では不法投棄が懸念されることから、防犯カメラの設置を含めた検討をしてほしい。 	<p>不法投棄の問題については十分に認識しており、先行都市への調査等も実施しております。有料化の導入に関わらず不法投棄は違法行為であり、未然防止対策のほか、防犯カメラの設置などの対策についても、併せて検討を行ってまいります。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、急に有料化の話が出てきたのか。富山市のごみが多いからなのか、財政が厳しいことが理由なのか。 ・有料化する場合は、一定量無料型方式にしてほしい。 	<p>ごみ減量化は、将来世代の負担軽減のためにも喫緊の課題として取り組む必要があるものと考えており、有料化はごみ減量化のための有効な手段と認識しております。</p> <p>有料化を導入する場合、手数料の料金体系等については、先行都市の事例等を参考にしながら検討してまいりたいと考えております。</p>

⑦ その他（今後の進め方、意見交換会、廃棄物、収集等 他）

No.	質問・意見 等	本市の考え方
1	意見交換会の参加者の少なさに驚いている。PRしたのか。	意見交換会の開催については、市広報のほか、ラジオやケーブルテレビ、自治振興連絡協議会でも周知しています。
2	意見交換会で出た質問と回答は、市の広報か何かで掲載してほしい。	意見交換会でいただいたご意見は、市広報やホームページなどで報告することとしています。
3	高齢化が進んでおり、持って行くのが大変なので、もっと身近な範囲でゴミステーションを増やしてほしい。	高齢者のごみ出しの支援について、どのようなニーズがあるのか、状況把握を行うこととしており、制度の導入にあたっては、本市の実情を踏まえ検討してまいりたいと考えております。
4	意見交換会は、富山地区広域圏の各市町村でも実施されているのか。	ごみ減量への取り組みは各市町村がそれぞれで実施しており、今回の意見交換会も本市単独で開催しております。